

Excel取り消し線 入れ方&ショートカット操作 チェックリスト

事前確認・対象の把握

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 303 202 343" type="checkbox"/>	取り消し線を使う目的（完了済み・不要データの可視化／修正履歴表示など）を確認した
<input data-bbox="160 432 202 472" type="checkbox"/>	取り消し線を設定・確認する対象ブック／シート／セル範囲を特定した
<input data-bbox="160 561 202 601" type="checkbox"/>	使用している環境（Windows／Mac）を把握し、それに応じたショートカットキーを確認した

基本の取り消し線（フォントメニューからの設定）

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 303 202 343" type="checkbox"/>	取り消し線を入りたいセルを選択した
<input data-bbox="160 432 202 472" type="checkbox"/>	「ホーム」タブの「フォント」グループを開き、フォント関連の設定箇所を確認した
<input data-bbox="160 561 202 601" type="checkbox"/>	「フォント」メニュー内の「取り消し線」のチェックボックスをオンにし、選択したセルに取り消し線が表示されることを確認した
<input data-bbox="160 710 202 751" type="checkbox"/>	複数セルを同時に選択して取り消し線を一括で設定できることを確認した - 補足：対象となる複数セルに同じ取り消し線設定が一度に適用されていること

ショートカットキーによる取り消し線の設定

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 303 202 343" type="checkbox"/>	取り消し線を入りたいセル（またはセル内の文字列）を選択した
<input data-bbox="160 456 202 496" type="checkbox"/>	Windows環境で「Ctrl」＋「5」のショートカットを実行し、取り消し線の書式を適用・解除できることを確認した - 補足：同じショートカットでオン／オフが切り替わること
<input data-bbox="160 612 202 653" type="checkbox"/>	Mac環境で「Command」＋「Shift」＋「X」のショートカットを実行し、取り消し線の書式を適用・解除できることを確認した

取り消し線を含んだスタイルの事前設定（頻繁利用向け）

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 303 202 343" type="checkbox"/>	「セルの書式設定」やフォント設定から、取り消し線を含んだフォントスタイルを作成した
<input data-bbox="160 432 202 472" type="checkbox"/>	作成したスタイルをセルのユーザー設定（カスタムスタイル）として保存した
<input data-bbox="160 561 202 601" type="checkbox"/>	保存したスタイルを別セルに適用し、取り消し線付きのスタイルが再利用できることを確認した - 補足：スタイル名から簡単に選択でき、同じ見た目が再現されること

二重取り消し線の設定

チェック	確認事項
☐	二重取り消し線を入れたいセルを選択した
☐	選択セルを右クリックし、「セルの書式設定」を開いた
☐	「フォント」タブを開き、取り消し線に関するオプションから二重取り消し線に該当する項目を選択した
☐	「OK」をクリックし、選択セルに二重取り消し線が表示されることを確認した
☐	二重取り消し線を重要な修正や強調が必要な箇所に使用する方針を頻繁に利用する場合は、ショートカットが存在しないため、「セルのスタイル」に二重線のスタイルを登録した

取り消し線に色を付けたように見せる設定（フォント色の変更）

チェック	確認事項
☐	取り消し線を表示したいセルを選択した
☐	「ホーム」タブの「フォント」グループ右下の矢印から、「フォント」のダイアログボックスを表示した
☐	フォント設定画面で「取り消し線」をオンにし、取り消し線が表示される状態にした
☐	同じダイアログで「フォントの色」を変更し、文字色の変更により取り消し線の色が変わったように見えることを確認した
☐	色分けした取り消し線で、データの状態（完了・保留・要再確認など）を視覚的に区別する運用方針を確認した

セル内の一部文字列のみへの取り消し線設定

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 303 202 342" type="checkbox"/>	セル内の文字列のうち、取り消し線を付けたい部分だけをドラッグして選択した
<input data-bbox="160 431 202 470" type="checkbox"/>	「ホーム」タブからフォント設定を開き、「フォント」ダイアログを表示した
<input data-bbox="160 559 202 598" type="checkbox"/>	「取り消し線」にチェックを入れ、選択した文字列部分のみに取り消し線が付くことを確認した
<input data-bbox="160 686 202 726" type="checkbox"/>	同じ手順で他の部分にも取り消し線を追加・解除できることを確認した

取り消し線の解除方法

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 303 202 343" type="checkbox"/>	取り消し線が設定されているセルを選択した
<input data-bbox="160 432 202 472" type="checkbox"/>	「ホーム」タブの「フォント」グループにある「取り消し線」ボタンの状態を確認し、ハイライトされていれば再度クリックして無効化できることを確認した
<input data-bbox="160 561 202 601" type="checkbox"/>	右クリックから「セルの書式設定」→「フォント」タブを開き、「取り消し線」のチェックを外すことで解除できることを確認した
<input data-bbox="160 690 202 730" type="checkbox"/>	取り消し線の解除後、セルの表示が読みやすい状態に戻っていることを確認した

勝手に取り消し線が入ってしまう場合の原因確認

チェック	確認事項
☐	直前のキーボード操作を振り返り、取り消し線のショートカットを誤って押していないか確認した
☐	該当セルや範囲を選択し、「セルの書式設定」→「フォント」で取り消し線が有効になっていないか確認した
☐	他のアプリケーションからコピー＆ペーストしたデータかどうかを確認した
☐	外部データの貼り付け時に「値のみ貼り付け」など、書式を引き継がない方法を検討・実施した

勝手に入った取り消し線の対処（書式クリア・再設定）

チェック	確認事項
<input data-bbox="160 303 202 343" type="checkbox"/>	取り消し線が意図せず入っているセルや範囲を選択した
<input data-bbox="160 432 202 472" type="checkbox"/>	「ホーム」タブの「クリア」機能から「書式のクリア」を実行し、取り消し線を含む書式が初期化されることを確認した
<input data-bbox="160 561 202 601" type="checkbox"/>	書式クリア後、必要なフォントサイズ・色・配置などを再設定した
<input data-bbox="160 690 202 730" type="checkbox"/>	同様の現象が他のセルでも起きていないか確認し、必要に応じて同じ対処を行った

チェック漏れ防止のための注意事項

チェック	注意事項
☐	どのセルにどの種類の取り消し線（通常／二重）を使うかを事前に決めておく
☐	ショートカットキーの誤操作で取り消し線が入るケースが多いため、原因切り分け時は最初にキーボード操作を確認する
☐	合計・経過時間が24時間を超える可能性がある場合は、必ず「[h]:mm」や「[h]:mm:ss」に表示形式を変更する。
☐	外部データの貼り付け時は、書式付きのまま貼り付けていないか注意する
☐	書式のクリアを実行する際は、必要な書式まで消えないよう、対象セルの範囲を慎重に確認する

※2025年12月時点の情報をもとに作成しています